

Japanese Red Cross Aichi Medical Center Nagoya Daiichi Hospital

人間を救うのは、人間だ。Our world. Your move.



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

日本赤十字社

地域医療支援病院・地域がん診療連携拠点病院
救命救急センター・総合周産期母子医療センター
地域中核災害医療センター
造血幹細胞移植推進拠点病院



日赤なごや

Vol. 75

Winter
2022

- 新年のご挨拶
- リハビリ見聞録!
いつ運動するのがよいのか?
- Professional Style
医療技術部栄養課
林 衛 管理栄養士

お知らせ

- 令和3年度大規模地震時医療活動訓練
- ゲノム医療センター開設とその役割

●発行/日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院

●発行責任者/広報活動委員会 〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地 TEL.052-481-5111(代表) FAX.052-482-7733

新年のご挨拶

コロナ蔓延後2回目の

新年を迎えて

あけましておめでとうございませす。
地球に新型コロナウイルス感染症が蔓延して2回目、名古屋第一赤十字病院から日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院に名称変更して初めての新年を迎えましたが、皆さんが

コロナ禍を乗り越り健やかな新年を迎えられていることお慶び申し上げます。
新規感染者数が昨年8月20日にピークであった第5波も、9月末迄に急速に収束し10月から緊急事態宣言が緩められました。減少の理由に、ワク



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院
院長 錦見尚道



チン接種者数が一定の割合に達したとか、マスク着用や密を避けるなどのコロナ対策の常態化が挙げられています。一方でワクチン接種後の抗体価の低下に対応し、3回目のワクチン接種もスケジュールされています。年末進行で11月中旬現在の状況なので、新年までの変化は神のみぞ知る、です。

折角のご挨拶の機会なので、「コロナを経験したことで、当院が今後どのように外来診療を行っていくかをお伝えしたい」と思います。定期的な診察と薬の処方を受けられていた当院の外来患者さんの中にも、コロナ蔓延期には電話再診を望まれた方もいらっしゃいました。コロナ前にお住まい近くのかかりつけクリニックに紹介しておけば、いつも通りに診察を受けて処方を受ける事ができたと思います。診察したクリニックの先生は、必要に応じた当院の外来受診を勧めただけです。患者さんご本人からの電話だけでは判らない、かかりつけ医だからこそ判断があります。

これまでも多くのクリニックから患者さんをご紹介いただき、当院で診断・治療を行い、病状の安定後には紹介元のクリニックに経過観察をお願いしてきました。急な病気で当院を受診、治療を受けられた患者さんの中には、かかりつけのクリニックを持っていない方もいらっしゃいます。また、当院への入院治療のきっかけになった病気の時に、生活習慣病に罹っていたことが初めてわかった患者さんもいらっしゃいます。入院の原因となった病気が治っても、生活習慣病には継続した治療が必要になります。こうした患者さんは、お住まいに近いクリニックの先生には生活習慣病の治療を、当院の医師には入院のきっかけになった病気の経過観察と、二人の主治医が協力して患者さんを診させていただく体制の強化を進めています。つまり、お住まいに近いクリニックの先生と当院の医師が協力して、患者さんに必要な医療を適時に提供できるようにしたいと考えています。ご理解ご協力のほど、宜しくお願いたします。

皆さんが明るい気持ちで新年を迎えられていること、新型コロナウイルス感染症の第6波が来っていないことを心から望んでいます。





管理栄養士も医療チームの一員として、
患者さんの治療を栄養面からサポートしています。

毎朝ベッドサイドに伺い、患者さんの 身体に触れ栄養状態を評価します。

当院のICUでは毎朝、多職種回診たしよくしゆかいしんを行っています。これは医師と看護師、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士、管理栄養士が、それぞれの立場で患者さんを診て話し合い、総合的な診断のもと治療をすすめる方法です。私も管理栄養士として、患者さんのお身体の様子を観察したり、腹音を聴いたり、骨格筋量を測定するなど、「栄養状態」を評価し栄養療法プランなどを提案しています。

栄養療法とは、栄養素の働きを最大限に生かして病気の予防や治療に役立てようというものです。栄養は、人が生きていく上で欠かせないものですが、救急やICUなど「救命」が優先される病棟では、症状が落ち着いた後に栄養療法を開始する手順が多く取られてきました。

ところが近年の研究で「ICU入室後48時間以内に経腸栄養けいちようえいよう※（経口を含む）を開始すると、予後が良くなる」と報告され、ガイドラインでも推奨されています。

病気やけがで食事ができなくなると栄

養不足で回復力が低下し、感染症などに罹かかりやすくなりますが、早期に経腸栄養を行うと腸内の免疫めんえきりよく力を保つことができ、合併症などのリスクを最小限に抑えることができます。また、回復が早く入院日数も短縮されるため、医療費の軽減にも役立ちます。もちろん、すべての患者さんに適するものではありませんが、早期栄養開始は多くの重症患者さんに利益をもたらす治療法の一つです。

「栄養」をもっと広く社会に役立てられ るよう、大学院で学んでいます。

医療技術の発展とともに、栄養学も目覚ましい進歩を遂げています。

医療職として認識されるようになってきた管理栄養士ですが、病棟で活躍できる領域はまだ限定的であると感じています。「栄養のことは栄養士が行う」環境が整えば、医師は治療に、看護師は看護に専念でき、業務の負担を減らせます。そして、それは患者さんにとっても望ましい環境となるはずで、これを実現するためには、管理栄養士もこれ

まで以上に専門性を高め、自ら判断・提案できる力を身につけなければなりません。

そこで、仕事の傍ら大学院にも籍を置き、ICU入室患者さんを対象とした「管理栄養士による早期栄養介入の効果」について研究しています。様々な病気の臨床データを取りながら、実際の現場で機能するしくみを考えています。

最終的な目標は、「栄養」を通して人や社会を救うことです。管理栄養士として、目の前にいる患者さんに寄り添い、行動するのはもちろんのこと、「臨床研究」を通して栄養療法の効果を証明していきます。研究論文が認められれば、その取り組みに診療報酬しんりょうほうろうがつき、全国の管理栄養士が働きやすい環境をつくることができます。そしてマンパワーが高まれば、病気に苦しむ患者さんに私たちができることも増えていくはずで、

栄養を通して治療を支え、栄養と食で心を満たし、栄養によって元気な身体をつくる…。そんな形の社会貢献をめざし日々努力を続けています。

※鼻などから細い管を通して腸に直接栄養を投与します

リハビリ 見聞録!

第2回

いつ運動するのがよいのか?



今回は、「いつ運動するのがよいのか」ということについてお話ししたいと思います。

まず運動を避けるべき時間帯が3つあります。

1つ目は「最低でも食後30分以内」です。食べ物の質や量にもよりますが、できれば食後1~2時間は空けることをお勧めします。食後は食べ物の消化吸収のために胃腸に血流が集中しています。この状態で運動をすると、より多くの血液を送らなければならなくなります。そのため胃腸への血流が不足し、消化不良を起こす可能性があります。

2つ目は「極端な空腹時」です。空腹時には血液中の糖分が不足しますので、エネルギー不足の状態です。この状態で運動を続けると、めまいやふらつきを起こしたり、注意散漫になる可能性があります。転倒したりして怪我につながることもありますので、軽食や糖分を含む飲み物、バナナなどの果物を摂

取してから行っていただくことをお勧めします。

3つ目が「寝る前」です。寝る前に激しい運動を行うと、交感神経が活性化し、寝つきが悪くなります。寝る前には、運動というよりも副交感神経が優位になるようなリラックスできるストレッチなどをお勧めします。

それでは、運動するのによい時間帯はいつでしょうか?

お勧めの時間帯は「朝」です。空腹には注意が必要ですが、朝から運動することで交感神経が優位になり基礎代謝を高めることが期待できます。また、脳の活性化にもつながると言われています。アメリカの高校で授業の前に運動を行ったところ、クラスの学業成績が向上したという報告もあるそうです。忙しい方はなかなか時間も取れないと思いますが、運動をする時間帯にも少し気を配っていただけたらと思います。

お知らせ



令和3年度 大規模地震時医療活動訓練

12/2



去る12月2日(木)「令和3年度 大規模地震時医療活動訓練」を実施しました。本訓練は愛知県に震度6強の地震が発生したとの想定のもと、当院に被災者が多数来院したため「災害モード体制における初動対応マニュアル」に基づきどのように対応するべきかを訓練しています。また、開催にあたり新型コロナウイルス感染症等に対する予防のため、参加人数を最小限とし、被災者役も人形を使用するなど感染症対策を講じました。

また「日本赤十字社愛知医療センター」への組織変更後、当院では初めての訓練となるため日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院へ患者を搬送するという訓練も行いました。名古屋第二病院の渡井副院長以下3名の方に救急車で当院へ来院してもらい、傷病者の引き継ぎが行われ日本赤十字社愛知医療センターとして共同訓練を実施することができたと感じています。今後も様々な場面において協力していくことができればと考えています。

さらに、同時に緩和ケアセンター南側駐車場を使用し、中村消防署による多数傷病者救急訓練が行われました。

消防車・救急車を含め車両が12台参加し、駐車場内にて乗用車が暴走し、多数の傷病者が発生したとの想定により、救出・トリアージ・初期治療・搬送が行われました。訓練会場から病院の受付までは実際に救急車や消防車両に傷病者(人形)を乗せて搬送したため、訓練ではありましたが本当の事故現場さながらの緊張感を体感することができました。

院内における訓練では、午前中に「災害対策本部机上シミュレーション訓練」を行い、午後は錦見院長以下病院幹部より「災害モード宣言」、勤務している職員の内ヶ島講堂への参集及び新設診療部門・家族支援部門の実動訓練が行われました。災害時には通常の診療体制とは異なり新たに「新設診療部門」を設置し、来院されるであろう多数傷病者に対応することとなりますが、参加された職員にはその難しさが体験してもらえたかと思います。

今後もより多くの職員に本訓練に参加してもらい、災害時にはどのような行動をすべきか経験し、有事の際には迷うこと無く行動してもらえればと思います。



日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第二病院による搬送訓練の様子



傷病者(人形)を使用し訓練を行いました



消防隊による搬送の様子



院内での診療エリアの様子



午前中の机上シミュレーション訓練の様子



ゲノム医療センター開設とその役割

ゲノム医療について

ゲノムとは、生物のもつ遺伝情報(遺伝子)の全体を指す言葉です。ゲノムを構成するDNAには、様々なタンパク質をコードする遺伝子が含まれています。これら遺伝子に病的な変化が生じ、様々な病気の原因となることが知られています。この遺伝子の変化を明らかにすることで、より効率的・効果的に病気の診断と治療等を行うのがゲノム医療です。

近年、遺伝性疾患に対する遺伝子検査や、医薬品の効果や副作用を投与前に予測するために行われるコンパニオン診断の保険適応が拡大され、患者さん一人ひとりに適した医療を行うことができると期待されます。神経変性疾患などの遺伝性疾患の診断や出生前診断など非がん分野でも、ゲノム医療は大切な役割を担っています。これらのニーズに応えるため、当センターは、診断部門、臨床部門、遺伝カウンセリング部門と連携して、質の高い医療を提供することを役割として開設されました。

がんゲノム医療について

「がん」は様々な遺伝子の変化が積み重なることで発症し、その遺伝子の変化は個人(患者さん)ごとに異なります。がんゲノム医療とは一人ひとりのがんの個性(原因)を明らかにし、患者さんにより適した治療薬の情報を提供する次世代のがん治療です。遺伝子レベルでご自身のがんを知ることは、治療方針の選択に役立ち、副作用の軽減や症状の緩和などが期待できます。令和元年6月にがん遺伝子パネル検査が保険収載され、がんゲノム医療体制が整備されつつあります。当院は、厚生労働省から「がんゲノム医療連携病院」に指定され、中核拠点病院である名古屋大学医学部附属病院と連携してがんゲノム医療を推進しています。



エキスパートパネル

遺伝カウンセリングについて

遺伝カウンセリングは、遺伝性疾患の医学的影響、心理的影響及び家族への影響を理解し、それに適応していくことを助けるプロセスです。遺伝子検査は、有益なことばかりではなく、将来の予測や家族への影響など様々な不安や心配を生じる可能性を含んでいます。遺伝カウンセリング外来では、専門スタッフが遺伝に関する問題を一緒に考えて、患者さん一人ひとりが適切な判断ができるようサポートしています。



遺伝カンファレンス



外来診療担当医表

※担当医は都合により変更になる事がございますのでご了承ください。 2022年1月1日現在

診療科目	月	火	水	木	金	
内科	血液	小澤幸泰	西田徹也	AM西田徹也 PM田原玄寛	小澤幸泰	森下喬允
		後藤辰徳	AM川口裕佳	後藤辰徳	AM一木朝絵	石際康平
		PM石際康平	PM森下喬允	AM土門洋祐	PM武田健一郎	PM江口基紀
		PM土門洋祐	PM武田健一郎	PM江口基紀・川口裕佳	—	PM一木朝絵
	内分泌	清田篤志	伊藤大貴	尾崎信暁	尾崎信暁	清田篤志
		白川晶	土田真梨子	—	土田真梨子	太田美穂子
	腎臓	遠藤信英	川副智宏	清水仁美	平松絵美子	渡邊智治
		新患	本田大祐	石原佑次	AM谷本由佳 PM高阪勇輔	近藤隼人
	再診		渡邊はづき	高阪勇輔	後藤洋二	真野和夫
	脳神経	谷本由佳	近藤隼人	大河内建	渡邊はづき	本田大祐
新患		足立健太郎	黒田真之	松井綾香	平松武宏	近藤史朗
	循環器	神谷春雄	嶋野祐之	神谷春雄	柴田義久	柴田義久
再診		嶋野祐之	岡本遼太郎 近藤俊	森下佳洋	宮田紳治朗	加藤博巳
呼吸器	新患	青山大輔	高納崇	後藤希 小玉勇太	横山俊彦	稲垣雅康 中瀨敦
	再診	横山俊彦	稲垣雅康	青山大輔	田中麻里	小玉勇太
消化器	PM伊藤亮太	中瀨敦	PM都島悠佑	高納崇	後藤希	
	土居崎正雄	山口丈夫	鷺見肇	山口丈夫	春田純一	
	鷺見肇 PM上田遼太	堀田侑義	春田純一 PM丸川高弘	上田遼太	土居崎正雄	
	松本悠平	八田勇輔	藤吉俊尚 PM堀田侑義	藤吉俊尚 丸川高弘	丸川高弘	
高野宏平	—	三木大地	PM松本悠平	PM原啓文		
総合診療	—	松久貴晴	—	PM榎葉誠	—	
小児科	午前	福見大地	濱麻人	大城誠	福見大地	竹内智哉
		杉山裕一郎	西門優一	秋田直洋	北澤宏展	三井さやか
		水谷謙介	田中雅大	羽田野裕	松本真由子	杉浦紀香
		菊井創	青山里穂	—	—	—
	アレルギー	—	—	石黒智紀	舛金聖也	—
	循環器	三井さやか	—	—	福見大地	—
	血液	—	濱麻人	PM土居崎小夜子	吉田奈央	(交代)
	神経	—	—	竹内智哉	田中雅大	夏田淳 / (交代)
	腎臓	—	渥美愛 多代篤志	—	—	—
	新生児発達	浅田英之	中山淳	藤城尚純	田中亮	近藤真生 大城誠
予防接種	(交代)	(交代)	—	—	—	
乳児健診	—	—	(交代)	—	(交代)	
小児内分泌	—	—	—	—	西門優一	
アレルギー	石黒智紀	—	—	—	—	
●予防接種・乳児健診は10日前までにご予約ください。詳しくは受付にお問い合わせください。						
外科	一般消化器外科	宮田完志	三宅秀夫	湯浅典博	永井英雅	三宅秀夫
		三宅秀夫	吉岡裕一郎	浅井宗一郎	加藤麻子	永井英雅
		荒川拓也	柴田耕治 PM関本寛裕	高橋大五郎 PM青木優大	池田幸陽	川合亮佑
	乳腺内分泌外科	岩瀬拓士	乳腺初診 (病診予約)	後藤康友	後藤康友	角田伸行
		照屋なつき PM(乳腺再診)	森万希子 PM太田尚正	照屋なつき	松本理佐	乳腺再診
	心血管外科	澤木完成	伊藤敬明(新患) 梶山洸	細羽創宇	—	伊藤敬明(新患) 加藤隆
	血管外科	—	山本清人	—	榊原昌志 李昌史	—
	呼吸器外科	(交代) 福本紘一	(交代) 森正一	(交代)	(交代)	森正一
	小児外科	村瀬成彦	村瀬成彦	—	村瀬成彦	—
	禁煙外来	毎週火曜日(12時30分~14時30分) 舟橋龍秀				
形成外科	林祐司 菱田雅之	—	林祐司	—	菱田雅之	
整形外科	新患	大高圭司	島本祐哉	(交代)	黒川寛	藤田友樹
	再診	井上英則	山本英樹	八木秀樹	洪淑貴	井上英則
		洪淑貴	石川尚人	黒川寛 島本祐哉	山本英樹	石川尚人
		(交代)	大塚純子	祖父江康司	大塚純子	八木秀樹
—	藤田友樹	—	大高圭司	祖父江康司		

診療科目	月	火	水	木	金	
脳神経外科	服部健一	和田健太郎	波多野寿	(交代)	久保裕昭	
	若林正浩	—	—	(交代)	藤谷繁	
	—	—	伊藤里紗	—	—	
皮膚科	吉川真人	吉川真人	井上優貴	井上優貴	井上優貴	
	竹中花予	竹中花予	吉川真人	竹中花予	吉川真人	
	大見修也	大見修也	大見修也	大見修也	竹中花予	
泌尿器科	黒須春香	平林裕樹 加藤隆	佐井裕紀 黒須春香	AM石山顕信 PM井上聡	佐井裕紀	
	鈴木省治	—	石山顕信	加藤隆	平林裕樹 井上聡	
腎移植外来	—	PM平林裕樹	—	—	—	
女性泌尿器科	加藤久美子	加藤久美子	—	加藤久美子 (新患)	—	
	—	鈴木省治	PM加藤久美子	—	—	
●新患は(木)にご来院ください。						
産婦人科	新患	安藤智子	廣村勝彦	伊藤由美子	齋藤愛	水野公雄
	再診	AM上田真子 PM鈴木美帆	AM正橋佳樹 PM水野公雄	坂堂美央子	廣村勝彦	AM告野絵里 PM義田章
	生殖内分泌・内視鏡	齋藤愛	安藤智子	—	安藤智子	齋藤愛
	化療外来	—	(交代)	(交代)	(交代)	—
	妊婦診	AM福原伸彦 PM寺沢直浩	伊藤由美子	中村拓斗	手塚敦子	中村侑実
		—	PM寺沢直浩	—	—	—
	ハイリスク妊娠外来	AM津田弘之	—	—	—	AM津田弘之
	妊娠初診外来	PM津田弘之	—	—	—	PM津田弘之
	パースセンター	—	福原伸彦	—	津田弘之	—
		助産師	助産師	助産師	助産師	助産師
眼科	佐藤英津子	—	佐藤英津子	(交代)	野坂光司	
	(交代)	—	(交代)	(交代)	(交代)	
耳鼻咽喉科	新患	寺田聡広	鈴木淳志	柘植勇人 神本高宏	村上優美子 神本高宏	伊藤潤平 小島慶悟
	再診	柘植勇人	寺田聡広	寺田聡広	柘植勇人	鈴木淳志
神本高宏 / 村上優美子 / 小島慶悟 (交代)						
リハビリテーション科	八木秀樹 大塚純子	洪淑貴	石川尚人	井上英則	山本英樹	
放射線科	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	山田哲也	
	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	岡田徹	
	●詳細は受付にお問い合わせください。					
歯科口腔外科	新患	大岩伊知郎	佐藤春樹	(交代)	大岩伊知郎	(交代)
	再診	佐藤春樹	大岩伊知郎	—	—	—
		長縄憲亮	長縄憲亮	—	佐藤春樹	—
上田整	早川泰平	—	早川泰平	—		
緩和ケア科	緩和ケア外来	火曜日 PM河合奈津子 水曜日 PM湯浅典博				

外来診療のご案内

- ◆初診 …………… 総合案内で「診療申込票」に必要事項をご記入の上、保険証・紹介状・各種医療証書を添えて、新患受付にお出ください。
- ◆診療受付時間 …… 午前8時20分~午前11時
(緊急および予約されている方はこの限りではありません)
土曜・日曜・祝日 年末年始(12月29日~1月3日)
- ◆休日 …………… 日本赤十字社創立記念日(5月1日)
- ◆セカンドオピニオン …… 詳しくは患者相談室までお問い合わせください。
- ◆専門外来 …………… 患者相談室 電話052-485-3503(直通)

お問い合わせ先 **052-481-5111** (代表)

休診情報はホームページでご覧いただけます。

<https://www.nagoya-1st.jrc.or.jp/>

TOP » 診療科部門 » 休診情報



日本赤十字社

日本赤十字社愛知医療センター
名古屋第一病院

〒453-8511 名古屋市中村区道下町3丁目35番地
TEL.052-481-5111 (代表) FAX.052-482-7733